

## 巡回支援事業のお知らせ

京都府織物・機械金属振興センターでは、外部指導員等による支援チームを編成して、丹後地域(舞鶴以北)の織物・機械金属業(関連業を含む)の各企業を巡回し、生産現場の実体に即応して、個々の企業が当面する技術的問題の改善と技術水準の向上を図るとともに、業界全体の技術振興に寄与することを目的に巡回支援事業を行っています。

### ○ 実施時期

平成20年4月から平成21年3月まで

### ○ 実施方法

- (1)原則として企業(組合等を含む)からの申し込みにより行います。
- (2)企業から支援の申し込みを受けた時は、その内容を審査し、実施日時・支援内容などを当該企業に連絡します。
- (3)支援に当たっては、関係市町並びに商工会議所・商工会、丹後織物工業組合、丹後機械工業協同組合等関係機関の協力を得て実施します。

### ○ 支援手数料

無料

### ○ 申込み先・問合せ先

織物業の方                    技術支援課(織物グループ)                    0772-62-7402

機械金属業の方                技術支援課(機械金属グループ)                0772-62-7403

※その他の業種への技術支援等についても相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

## 丹後産地で設立48年の歴史ある産地研究団体「丹織技術研究会」をご紹介します

### 丹織技術研究会は

昭和35年9月に丹後織物の振興に資するため、京都府・丹後織物工業組合・京都織物卸商協会(現:京都織物卸商業組合)・京都工芸繊維大学などの支援を得て設立されました。

メンバーは丹後産地の白生地製造・紋紙製造業・撚糸業・糸商などから構成されており、新商品開発のための織物見本蒐集・配布や講習会の開催、最新技術の視察研修などを主な事業として取り組み、ピーク時には会員数は230企業に及びましたが、現在は65企業となっています。

### 織物見本は先人達の技の蓄積

蒐集しました織物見本は現在1,438点です。これらの一点一点は新しい素材の組合せや、撚糸技術・紋織技術を駆使したもの、また化学加工などの後加工を施したものなど、その時々ヒット商品や流行を顧みることが出来ます。丹後産地約300年の歴史からみればわずか48年の歳月ですが、先人達の技の蓄積であり、古今無類のものづくり教本として活用されています。

### 今、必要なことは

直面する課題は、高齢化・廃業等によって会員数が65企業まで減少していることです。丹後が織物産地として維持継続するためにも、ものづくり集団としての会員相互の結び付きを強め、京都府や丹後織物工業組合と連携を強める事が必要と考えています。



先人達の技の蓄積「織物見本」

【お問い合わせ先】

京都府織物・機械金属振興センター  
企画連携課

TEL:0772-62-7401 FAX:0772-62-5240  
E-mail:info@silk.pref.kyoto.jp